

研究課題 : 介護施設における口腔衛生管理と栄養管理 (経口持等) の連携の実態と効果

研究者名 : 柴田 佐都子¹⁾、ステガロユ・ロクサーナ¹⁾、大内 章嗣¹⁾

所 属 : ¹⁾新潟大学医歯学総合研究科 口腔生命福祉学講座

【背景と目的】平成 27 年度介護報酬改定では経口維持加算におけるミールラウンドが評価されるなど、介護施設入所者の経口摂取や口腔機能の維持向上に関する施策は年々拡充されてきているが、施設における口腔衛生管理加算等の算定件数はあまり増加していないとも指摘されている。このため、新潟県内の介護保険施設を対象に入所者の状況、栄養管理加算 (経口移行・経口維持加算を含む)、口腔衛生管理 (体制) 加算等の算定状況、歯科医療機関等との連携の現状等に関する質問紙調査を実施し、施設における歯科医療機関・歯科専門職等との連携の実態を明らかにすることを目的とする。

【対象および方法】新潟県内の全介護保険施設を対象として、郵送自記式質問調査票調査を実施した。調査項目は入所者の状況、職員の配置および歯科専門職との連携状況、介護報酬の算定状況 (栄養マネジメント加算、経口移行加算、経口維持加算、療養食加算および口腔衛生管理体制加算、口腔衛生管理加算) とした。回答の得られた 111 施設を分析対象とし、各加算の算定状況、各加算に関わる職種とその参加状況等について集計し、各加算の算定における施設雇用職員の影響について解析した。

【結果および考察】分析に用いたアンケートの回収率は約 4 割であった。各加算の算定状況は栄養マネジメント加算で 9 割以上、経口移行加算は 1 割未満、経口維持加算は 4 割、経口維持加算 II は約 2 割、それら歯科専門職の参画が必要な加算の算定割合は低く、連携を進めるための支援の必要性が示唆された。また、口腔衛生管理体制加算の算定は 7 割であった一方、歯科衛生士の従事を必要とする口腔衛生管理加算は 2 割にとどまり、その絶対数は十分とは言えない状況が認められた。

経口移行加算、経口維持 I 加算および口腔衛生管理体制加算における歯科専門職の参加率は、いずれもの加算も歯科医師は歯科衛生士を超えていた。一方、経口維持加算 II における参加率は逆の関係を示したことから、歯科衛生士は施設入所者の口腔ケアに加え、経口移行 (維持) 管理にも関わりつつあり、それら栄養管理加算・口腔衛生管理加算に関わる歯科専門職の施設雇用を支援することにより、さらなる連携の拡大が可能になると考えた。

各加算の算定に施設職員および施設雇用の歯科専門職が与える影響では、経口移行・経口維持加算 I・II および口腔衛生管理加算において施設雇用の歯科専門職との間に統計的な有意性が示され、算定施設では入所者の摂食・口腔機能向上を目的とした歯科専門職の確保が進みつつあるものと示唆された。